

日本整形外科学会 教育研修講演 受講申込書

◆受講を希望するものに○印を付け、所定事項をご記入の上、「教育研修講演受付」へご提出ください。
(受講料 1講演 1,000円)
◆受講単位は1講演(1時間)につき1単位です。

日整会認定教育研修講演
A.<認定単位種別(任意1分野まで)>
・スポーツ単位(S) ・リウマチ単位(R) ・脊椎脊髄病単位(SS) ・運動器リハビリテーション単位(Re)
B.<専門医必須14 分野(必須2分野まで)>
[1]整形外科基礎科学 [2]外傷性疾患(スポーツ障害を含む) [3]小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)[4]代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
[5]骨・軟部腫瘍 [6]リウマチ性疾患, 感染症 [7]脊椎・脊髄疾患 [8]神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)[9]肩甲帯・肩・肘関節疾患 [10]手関節・手疾患(外傷を含む)
[11]骨盤・股関節疾患[12] 膝・足関節・足疾患[13]リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む) [14-1]医療安全 [14-2]感染対策 [14-3]医療倫理
[14-4]保険医療講習会, 臨床研究/臨床試験講習会, 医療事故検討会, 医療法制講習会, 医療経済(保険医療を含む)に関する講習会,
地域医療/医療福祉制度に関する講習会 [14-5]医学全般にわたる講演会などで, 14-1～14-4に当てはまらないもの
(14-1～4は機構認定専門医共通講習, 14-1, 2, 3は機構認定専門医必修講習)

日時		会場	セッション名	演者名	演題名	日本整形外科学会		受講希望欄
						必須分野	専門医単位	
10月10日 (金)	11:20～12:20	第1会場	ランチョンセミナー1	稲毛 一秀	骨粗鬆症性椎体骨折への多面的アプローチ ―ガイドラインと最新トピックスから考える治療戦略―	4, 7	SS	
		第2会場	ランチョンセミナー2	今釜 史郎	腰痛を含めた運動器疼痛の臨床エビデンス	7	SS	
		第3・4会場	ランチョンセミナー3	大場 哲郎	脊椎術後合併症から学ぶこと	7	SS	
		第5会場	ランチョンセミナー4	豊田 宏光	腰痛診療に必要なヘルスコミュニケーションを考える	7	SS	
	13:10～14:10	第1会場	海外招請講演 1	Shanmuganathan Rajasekaran	Is low back pain due to subclinical infection?: The influence of Bacteria on Disc Health	7	SS	
	14:50～15:50	第2会場	海外招請講演 2	Gaurav Raj Dhakal	Low back pain in Nepal: Predisposing factors and management challenges	7	SS	
	16:25～17:25	第1会場	教育研修講演1	山縣 正庸	私の腰痛診療 ―振り返りとそこから見えてくるもの―	7	SS	
				西田 康太郎	腰椎難症例に対峙する ―手術症例を中心に―			
	18:10～19:10	第2会場	アフタヌーンセミナー1	宮本 敬	LLIFの落とし穴にはまらないために ―自認 “不器用派” の術者が語るLLIF―	7	SS	
		第5会場	アフタヌーンセミナー2	平井 高志	粗鬆骨を有する脊椎疾患に立ち向かう ―Cement augmented pedicle screwの使用経験からわかったこと―	4, 7	SS	
				檜山 明彦	骨粗鬆症性椎体骨折に対するセメント補強スクリュー(CAPS)を用いた脊椎固定術の実際と治療戦略			
10月11日 (土)	8:00～9:00	第2会場	モーニングセミナー1	二階堂 琢也	腰痛診療におけるアセトアミノフェンの位置づけと適正使用指針 ―高齢者・併存疾患例に対する最適な疼痛管理とは―	7	SS	
		第5会場	モーニングセミナー2	西能 健	脊椎骨粗鬆症全盛時代 ―課題を武器にして超高齢社会を乗り越える―	4, 7	SS	
	12:00～13:00	第1会場	ランチョンセミナー5	鉄永 倫子	腰痛診療における聴くスキル・伝えるスキル ―患者さんの治療満足度を上げるために―	7	SS	
		第2会場	ランチョンセミナー6	矢吹 省司	慢性腰痛に対する多面的評価の重要性と集学的治療の実際	7, 13	Re	
		第3・4会場	ランチョンセミナー7	西良 浩一	アスリートの腰痛 ―最小侵襲手術で運動療法につなぐ―	7, 13	Re	
				藤谷 順三	腰痛に対するピラティス運動療法			
		第5会場	ランチョンセミナー8	小島 敦	患者さんにどう説明する？ ―腰椎椎間板ヘルニア治療におけるコンドリアーゼの過去・現在・未来―	7	SS	
	13:10～14:10	第1会場	教育研修講演2	大川 淳	「腰痛治療のカクシン」を振り返って	7	SS	
				大鳥 精司	腰痛診療は過去にどのように身につけられ、現在どのよう行われて、将来の腰痛診療はどうあるべきか			
		第5会場	スポンサードセミナー	林 寛之	骨粗鬆症性椎体骨折にどう向き合うか ―治療の選択と課題 ―	4, 7	SS	
	14:25～15:25	第1会場	教育研修講演3	白土 修	腰痛診療ガイドラインの変遷と実践 ―演者自身の診療アプローチに合理性はあったか？―	7	SS	
				二階堂 琢也	腰痛診療ガイドラインの歩みと展望 ―国内外の変遷からみる標準化と個別化の課題―			

所属 _____

☐専門医 ☐未専門医

氏名 _____ 講演 ×1,000円= _____円